

学校HP
二次元
コード

手宮中央

教育目標
やさしい心をもつ子ども
自ら学ぶ子ども
たくましい子ども

子どもたちの自信と意欲を育てるために

校長 小寺 友興

日中はまだまだ夏の名残を感じるものの、朝晩の肌寒さが秋の到来を感じる季節になりました。

評価システム改善のため、学期ごと年3回配付していた通知表を、前期と後期の年2回配付することにしましたので、9月30日（火）に今年度最初の通知表を配付いたします。学習面・生活面ともに、できることに前向きに取り組み、他者との関わりを通して、子どもたちは、それぞれに着実な成長を遂げました。我々教員にとって、子どもたちが成長することが何よりの喜びです。得意なこと、苦手なことは各々ありますが、お子様と一緒にごらんいただき、子どもたちが一番うれしい、保護者の方からの「よく頑張ったね」の一言を ぜひかけてあげてください。

PISA調査などの調査によると、日本の子どもたちは、他国の子どもたちに比べて自分への自信の欠如や自らの将来への不安などの課題が見られます。これは、私たち大人のかかわり方が大きく影響していることを自覚する必要があります。

何気ない毎日の積み重ねの中に、実は子どもたちの多くの頑張りがあります。子どもが、頑張りやよさを見せた時、そして意欲を持っている時が成長のチャンスです。周りの人（友だち、教師、家の人）ができたこと、わかるようになったこと、努力したことを認め、励ますことによって、自分に自信をもつようになるからです。また、結果だけではなく、その取組の過程をしっかりと評価することが大切だと考えています。「自分はできるんだ」「がんばりを見てくれているんだ」と意識させながら育てることで自信が積み上げられ、自立した個人、社会で活躍できる大人へとつながっていきます。

今、学校では、6年生は明後日9月26日（金）に行う小樽案内人ジュニアの観光ガイドに向けて最後の仕上げの段階に入っています。他の学年は、来月10月18日（土）に行う学習発表会に向けた練習が始まっています。どちらの本番でもきっと、子どもたちは練習の成果を発揮して頑張ってくれることと思います。

一人一人の自信や意欲を育てるために、機会を逃さず、認め、励ます関わりを意識しながら指導してまいります。共に子どもたちを育てていくために、ご家庭でも同じスタンスで、子供たちを見守り、関わっていただきますようお願いいたします。

10月の主な行事予定

1日	4年見学学習 2年図書館見学 フッ化物洗口	21日	1年読み聞かせ
2日	学習発表会特別時間割開始 おたる案内人5年博物館見学	22日	B日課5時間授業 フッ化物洗口 4年1組博物館プラネタリウム見学
3日	放課後学習会1～3年、4～6年	23日	4年2組博物館プラネタリウム見学 スクールカウンセラー来校日
6日	児童朝会 クラブ	24日	放課後学習会1～3年、4～6年
7日	2年読み聞かせ	27日	全校朝会 放課後学習会全学年
8日	フッ化物洗口	28日	2年読み聞かせ 6年英検 ESG
9日	スクールカウンセラー来校日	29日	あゆみ学級近隣校交流学习 フッ化物洗口
10日	放課後学習会1～3年、4～6年	30日	スクールカウンセラー来校日
13日	スポーツの日（祝日）	31日	中学校体験入学 合同授業6年 放課後学習会1～3年、4～6年
16日	学習発表会児童公開		
18日	学習発表会		
20日	学習発表会振替休業日		

通知表の評価について



評価システム改善のため、今年度より通知表の評価期間が前期（４月～９月）と後期（１０月～３月）の２期制となりました。前期最終日の９月３０日（火）に、今年度最初の通知表を児童に渡します。前期の各教科の評価、頑張ったことや成長が見られたことなどを記載しておりますので、ご覧ください。

各教科の評価につきましては、小学校においては文部科学省が定めた学習指導要領に基づいた観点にて評価を行っております。現在の学習指導要領では、一人ひとりの子どもたちに身に付けるべき資質・能力を次の３つに整理したことから、各教科の学習において、その３つの資質・能力を身に付けられるように指導するとともに、以下の観点でそれぞれ評価しています。通知表の観点も同様に３観点で評価しておりますので、参考にしてください。

なお、今年度よりお渡しした通知表を学校に持ってくる必要はありません。各ご家庭にてご覧いただいた後、保管いただきますようお願いいたします。

（１）知識・技能

- ・各教科の学習を通じた知識及び技能を習得しているか。
- ・習得した知識を既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり技能を習得したりしているか。

（２）思考・判断・表現

- ・各教科の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかどうか。



（３）主体的に取り組む態度

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしているか、また、その中で自らの学習を調整しようとしているか。

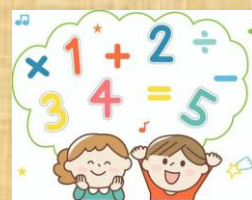
本校の特色ある教育活動② 「学習支援加配」 & 「退職教員等外部人材活用事業」

今回は、北海道教育委員会から指定を受けて、今年度本校に配置されている加配や担当教員の役割等についてお知らせします。

① 学習支援加配（全学年算数 TT、放課後学習会等）

児童数等に基づく教員定数の他に、本校は国による定数加配措置（学習支援加配）を受けています。

その措置により、担当教員（現在は木田美紀子教諭）が算数の授業に入り、担任や教科担任とともに TT（チームティーチング）による指導を行っています（１・２年生は週４時間のうち３時間、３～６年生は週５時間のうち４時間程度で TT の授業を実施）。複数の教員だからこそできる習熟度別の少人数指導を授業の中で組み合わせながら、基礎基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成が図られるように授業を行っています。



授業以外にも、放課後学習会や長期休業中の学習会を担当の木田教諭を中心に実施しております。

② 「退職教員等外部人材活用事業」非常勤講師（３・４年外国語活動）

北海道教育委員会の「退職教員等外部人材活用事業（小学校外国語活動における社会人等外部人材の活用）」により、今年度の３・４年生の外国語活動の授業に、毎時間、渡部亜貴子先生が外部講師としてご来校いただいております。この事業は、「小学校の外国語活動において、言語能力や国際的感覚の基盤を培い、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、英語に堪能な社会人の十分な活用を図り、指導を充実させる」ことを目的としております。渡部先生は、開校以来、この事業の外部人材講師として本校に派遣され、外国語活動において学級担任と連携しながら授業を行っています。

